

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	コスモス活動所		
○保護者評価実施期間	令和8年 2月 20日		～ 令和8年 3月 5日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16	(回答者数) 14
○従業者評価実施期間	令和8年 2月 20日		～ 令和8年 3月 5日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 3月 17日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	法人全体で防災防犯・5S委員会、事故防止安全対策委員会、教育・感染予防検討委員会、強行支援推進・接遇委員会、工賃向上・行事委員会、虐待防止・身体拘束適正化委員会が構成しており正職、準職員、パート職員など雇用形態にかかわらず属して横のつながりを深めている。	各委員会で事業所内研修、訓練を行っている。	より充実した研修会を行えるようスキルアップ研修委員会が他委員会が取り組む研修訓練以外に必要な研修を企画し実施していく。
2	法人では放課後等デイサービス事業の他、生活介護事業、短期入所事業、日中一時支援事業を行っていて各事業間で連携が取れる。	短期入所利用者に対して支援内容や本人の状態を共有できる。高等部利用者に生活介護事業での作業体験を行っている	利用者の情報、状態について各事業間で共有し支援して行く。
3	月1回音楽療法、2月1回言語聴覚療法、年2回作業療法それぞれの実践と助言をもらっている。	必要な利用者に状態によって支援を入れている。	担当職員が支援方法等の助言もらい日々継続して支援に入れていく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者会を開催しているが参加される保護者が少なく、毎月行っていた保護者会を2カ月に1回になった。	保護者会に興味、関心を持ってもらえない。	保護者会について意識調査を行って内容を検討する。
2	放デイサービス向け保護者連絡ツールで利用者全員の様子を定期的に伝えきれていない。	連絡ツールを利用した保護者への返信だけで終わっている。	全利用者に連絡ツールを使って子供たちの様子を伝えていくために、様子を伝えた利用者をチェックしていく。また、保護者にも連絡ツールの利用を進め過程での様子を伝えてもらうようにする。
3	放課後児童クラブとの交流や、地域の他の子どもと活動する機会が少ない。	障がい特性などから、交流することでの配慮が必要で負担もある。また、職員の負担も大きい。	公園や散歩、お出かけ行事等で交流する機会を続けていく。子供の障がい特性を考慮し負担の少ない方法を考えて行く。